

## 研究における情報の公開について

大分大学福祉健康科学部では下記の研究を実施しております。研究対象者となられる方それぞれから同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究機関名	大分大学福祉健康科学部
研究課題名	呼吸や音への意識が免疫機能に及ぼす影響
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 令和 6 年 3 月まで
研究の意義、目的	<p>ストレス低減効果のあるマインドフルネスでは、さまざまなトレーニングが用いられていますが、その中でも周囲の音に意識を置く教示や、身体感覚に意識を置く教示が多く用いられています。しかしながら、これまで注意を向ける対象における効果の違いについて、その精神生理学的メカニズムを検討した例は限られていました。そこで、免疫機能を測定することで、マインドフルネスの作用機序について検討する必要があると考えています。本研究を通して、ストレスへの有効な対処法について示唆を与えることができると考えています。</p>
方法（使用する資料・情報）	<p>音に意識を置くトレーニング（外的注意条件）と自分の呼吸に意識を置くトレーニング（身体注意条件）を 1 日 5 分間×1 週間実施し、1 週間特別な対処法を行わない条件と比較します。1 週間の各条件の前後で、気分状態を測定し、免疫機能の指標である免疫グロブリン A を唾液から採取、測定することで気分と免疫機能に対する影響について検討します。</p>
個人情報の取り扱い	<p>唾液検体は不安定物質のため、解析後破棄します。データは USB フラッシュメモリにて保存し、鍵のかかる書庫に 10 年間保管します。得られた結果は、学会や学術雑誌に発表されますが、研究の結果を公表する際には、個人が特定できないようプライバシーに配慮します。なお、本研究で得られたデータを他機関へ提供することはありません。</p>
研究への参加について	<p>研究への協力を依頼する際には、協力は自由意思であり、研究への参加に同意しなくても不利益を被ることは一切ないこと、いったん同意した後でもいつでも撤回できること、学業成績や評価とは無関係であり、研究に協力しなくても不利益を被ることがないことを文書で説明し、文書で同意を得ます。なお、未成年者の場合は、親権者から研究への参加の拒否が求められた場合には、本人の同意がある場合でも、研究を中止し、既に収集したデータを破棄します。</p>
研究責任者問合せ先	<p>氏名：村上裕樹 連絡先：大分大学福祉健康科学部心理学コース 電話： 097-554-6106</p>

※研究責任者は 1 枚にまとまるように記載すること